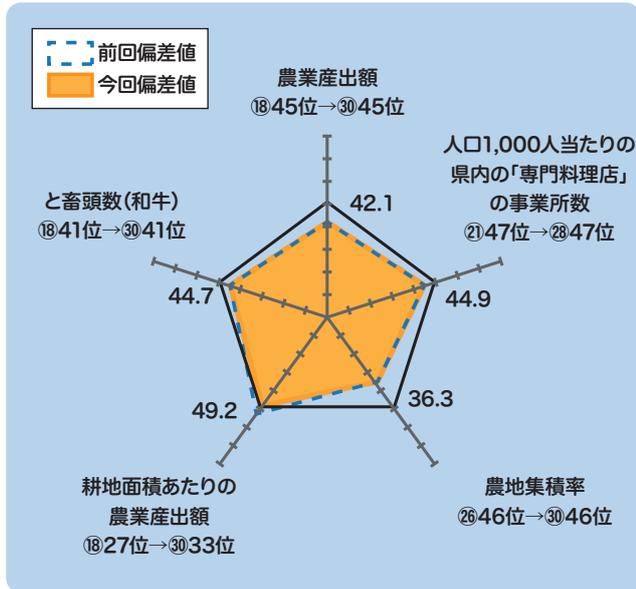


Ⅶ 豊かな「都」をつくる

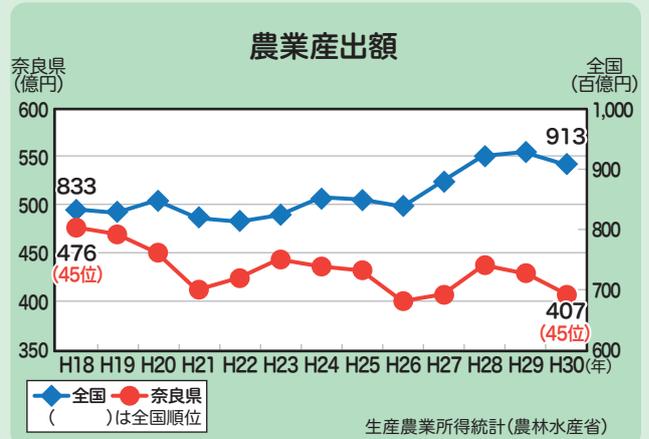
～県内の農・畜産・水産業・林業の振興、農村活性化、森林を護る施策を進める～



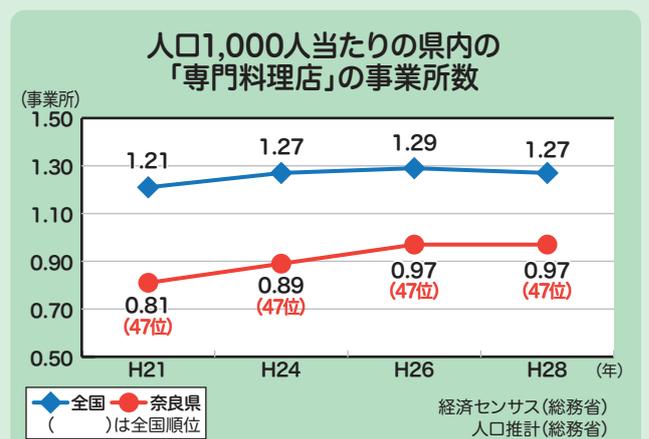
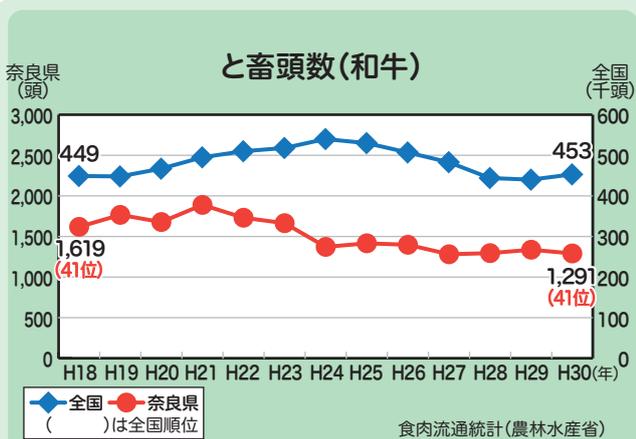
22. 農業・農地・農村・食と農の振興



23. 畜産・水産業振興

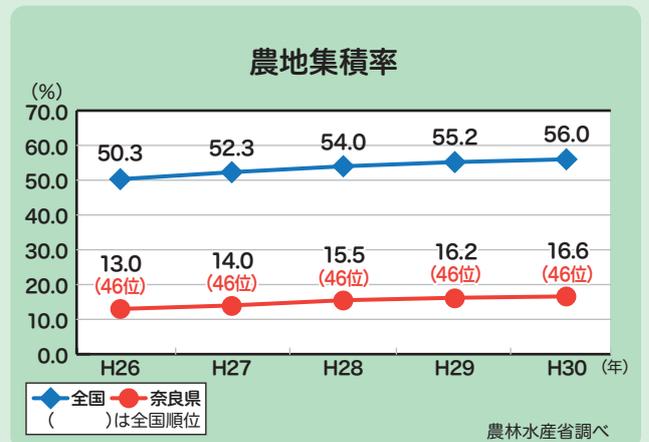
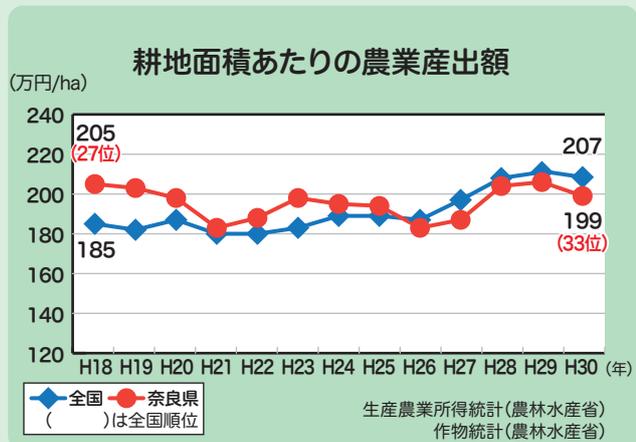


高品質生産への支援等に取り組んでいるものの、価格変動や悪天候の影響等により、伸び悩んでいます。



牛肉として出荷される和牛のと畜頭数は、畜産業の規模拡大が難しいことから、平成24年以降、横ばいとなっています。

人口1,000人当たりの県内の「専門料理店」の事業所数は、奈良のおいしい「食」づくりとプロモーションの強化等の取組により全国に近づいています。



イチゴや柿、小菊等の高収益な作物の振興に取り組んでいるものの、担い手の高齢化・不足を背景に伸び悩んでいます。

大規模農家が少なく小区画水田が多いことから、農地集積率は低いものの、農地中間管理事業等により担い手への集積が徐々に進んでいます。



(122) 特定農業振興ゾーンの整備 (123) 農地マネジメントの推進

これまでは

- 農地の有効利用を図るエリアとして「特定農業振興ゾーン(注)」を6地区で設定してきました。
(五條市丹原地区、川西町下永東城地区、田原本町法貴寺地区・八田地区、広陵町百済川向地区・寺戸地区)
 - 耕作放棄地の解消等のため、農地の出し手と受け手のマッチングによる担い手への農地集積等を推進してきました。
(農地中間管理事業によるマッチング面積 456ha(平成26年～平成30年))
- (注) 特定農業振興ゾーン・・・県内の農地を有効に活用し、農業の生産性の向上を図るために設定する区域で知事が定めるもの。

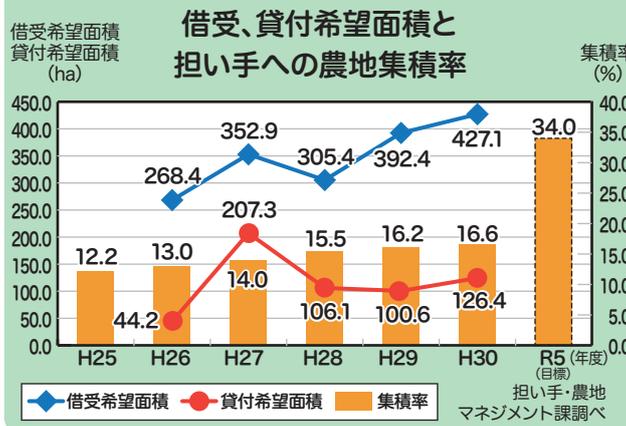
もっと良くするために

- 既設の特定農業振興ゾーンの整備実施計画に基づく事業を順次実施し、成功事例とすべく全力を挙げるとともに、市町村と協働して新たな特定農業振興ゾーンの設定を目指します。
- 各地域で農業の将来のあり方を明確化した「実質化した人・農地プラン」の作成に取り組むとともに、農業委員会等による耕作放棄地調査を適切に行い、農地所有者への耕作再開や農地貸借の働きかけ、重課措置、非農地判断など、手順を踏んだ農地マネジメントを進めます。

目指す姿

令和6年度までに特定農業振興ゾーンの設定を10地区にします。
令和5年度までに担い手への農地の集積率を34%にします。

担い手農家への農地の集積は年々進んでいるけど、借受希望と貸付希望に大きな開きがあるんだね。



使い易い農地の供給があればもっと農地の集積が進むので、特定農業振興ゾーンがモデルとなって農地の有効利用を進めます。



主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
特定農業振興ゾーンの整備実施計画の実現	農地の集積、区画の大規模化、耕作放棄地発生防止、高収益作物の転換と販路や担い手の確保、施設・機械の整備		
新たな特定農業振興ゾーンの設定	他の市町村でも新たな特定農業振興ゾーンを設定		
農地マネジメントの推進	農地を含め地元農業の将来を見通すための「実質化した人・農地プラン」の作成、適切な耕作放棄地調査の実施、農地所有者への耕作再開・貸借の働きかけ、重課措置の適用、非農地判断		



(124) 中央卸売市場の再整備

これまで

中央卸売市場の老朽化・再整備の必要性に対応するため、「奈良県中央卸売市場再整備基本計画」を策定しました。(令和元年9月)

もっと良くするために

卸売機能(BtoB)の効率化、高機能化に加え、賑わい創出機能(BtoC)の整備により、市場の立地や歴史を活かした「食とともに文化・スポーツを楽しむ」華やかで賑わいのある複合拠点の整備を図ります。

市場エリア:卸売場、仲卸売場、冷蔵庫、加工場、関連商品売場、管理施設 等
賑わい創出エリア:フードホール、多目的ホール、子ども広場、宿泊施設、駐車場 等

目指す姿

令和10年度までに地域に開かれた賑わいのある中央卸売市場を整備します。

市場棟のコールドチェーン化等で、より安全・安心な食を提供する新しい市場に生まれ変わるんだね!!



市場の機能と連携した賑わい施設を整備することで、県民や観光客が集う新しい「食」の拠点が生まれます。



主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
市場エリアの整備	公募に向けた準備・検討、事業者公募・選定	設計・建設	
賑わいエリアの整備	レイアウト等の検討	公募に向けた準備・検討、事業者公募・選定	
市場北側用地の取得	境界確定・用地買収		



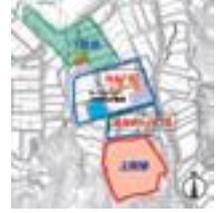
(125) NAFIC教育の充実と周辺の整備

これまでは

NAFIC(注)附属レストランとホテルは中和の新しい観光施設として定着してきました。さらに、その上段部のセミナーハウスの造成工事に取り組んできました。令和2年度に建築工事着手、令和4年度供用開始予定で整備を進めます。



セミナーハウスイメージ



周辺整備位置関係図

(注)NAFIC・・・NARA Agriculture and Food International College (奈良県立なら食と農の魅力創造国際大学校)の略

もっと良くするために

- セミナーハウス上段部に眺望の良い景観を活かし、民間活力を活用した集客施設の整備を検討します。
- NAFIC下段部の賑わいづくりの検討も進めます。
- NAFIC開校後4年が経過して見えてきた課題に対応するため、NAFIC教育方針検討会議を立ち上げ、カリキュラム等の見直しを検討します。

目指す姿

令和6年度までにNAFIC周辺地域の交流人口を43,000人にします。

NAFICの周辺を整備することで、地域が活性化して、交流人口が増えるんだね。



NAFIC周辺地域の交流人口



NAFICの周辺地域が盛り上がると、県の周遊観光の拠点となって、中南部地域への観光促進にもつながるんですよ。



主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
NAFIC附属セミナーハウスの整備	建築・外構工事、運営事業者の選定等		供用開始
「NAFIC周辺賑わいづくり協議会」の支援	地元協議会の活動支援 (農泊・食・体験につながる魅力発信)		農村観光の推進
セミナーハウス上段部集客施設の誘致	民間事業者参画に向けた調査と条件整備等		



(126) 奈良県豊かな食と農の振興条例の制定

これまで

奈良県の食と農を一体的に振興するために「食」と「農」の振興の基本となる条例の検討を進めてきました。

もっと良くするために

「奈良県豊かな食と農の振興に関する条例」に基づき、食と農の一体的な振興を図るための基本的な計画を策定し、具体的な取組を推進します。

目指す姿

令和2年度に食と農の一体的な振興を図る基本的な計画を策定し、具体的な施策を推進します。

身体に良いものを食べて健康で長生きしたいなあ。おいしい食を求めて奈良を訪れる人を増やしたいなあ。



食の提供の充実

- 市場動向に基づく重点的な生産振興、品質の向上と安全性、安定生産の確保
- 事業の多角化及び高度化、新たな事業の創出の推進
- 国内外への情報発信、流通の円滑化、多様な販路拡大

食を楽しむ機会の拡大

- 食と農に強い人材の育成、開業支援
- 飲食店・宿泊施設における食事の満足度の向上
- 食と農の地域資源に触れ、親しむ機会の拡大
- 地域の食文化の継承、創造、発信

健康的な食生活の実現

- 品質の優れた農畜水産物等を活用した、適切な食習慣の普及

子どもの健全育成

- 子どもの食への県産農畜水産物等の利用促進（家庭、学校、地域社会）
- 子どもの食生活の改善に資する食事の機会の提供

県民や来訪者に安全で質の高い農畜水産物等をおいしく食べる機会を提供して、健康で豊かな生活の実現と食と観光が連携した地域振興を進めるんです。



主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
条例に基づく基本計画の策定	基本計画の策定とその進捗管理		



(127) 食品ロス削減への対応

これまで

- 賞味期限切れ等で廃棄される食品ロスは国内で年間約643万トン発生しています。
- これを受け、令和元年10月1日に食品ロス削減推進法が施行されました。
- 県では、食品ロス削減に向けた県民への啓発を実施しています。

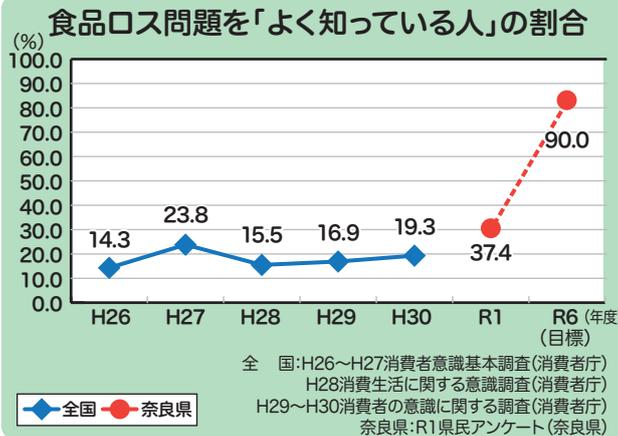
もっと良くするために

- 食品ロス削減に向けた推進計画を策定します。
- 食品ロス削減フォーラムの開催や食品ロスの削減に顕著な功績がある方の表彰等により、消費者、事業者等への更なる啓発に取り組みます。
- こども食堂の安定運営と食品ロス削減の協働体制の構築に取り組みます。

目指す姿

令和6年度までに食品ロス問題を「よく知っている」県民の割合を90%にします。

世界の食糧援助量の1.6倍もの食品が国内では食べられないまま捨てられていて、食品ロスを削減することがとても重要な課題になっているんだね。



みんなが食品ロスの問題をよく知り、食品ロスを減らす努力をすることや、食料を必要としている人のために未利用食品を有効活用することが大切ですよね。



主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
食品ロス削減推進計画に基づく取組推進	計画策定	計画に基づく取組の推進	
食品ロス削減に向けた啓発活動の推進	食品ロス削減推進フォーラム等による啓発活動		
未利用食品をこども食堂等で活用する仕組みづくり	民間団体への支援を通じた集配送体制の構築		
フードバンク活動への支援	フードバンク活動の推進に向けた市町村民間団体の取組への支援		



(128) 食肉畜産業の振興・食肉公社の運営

これまでは

- 大和畜産ブランドの推進を図るとともに、ブランド力向上のため、認証制度(奈良県プレミアムセレクト)の運用を進めてきました。
- 安心・安全な食肉を安定的に供給するため、奈良県食肉センターの「と畜事業」を食肉公社に移管しました。

もっと良くするために

- 将来の需要に基づいた生産目標を設定し、意欲ある畜産農家を支援します。
- 衛生管理の行き届いた効率的な食肉センターを運営できるよう、食肉センターを運営していきます。

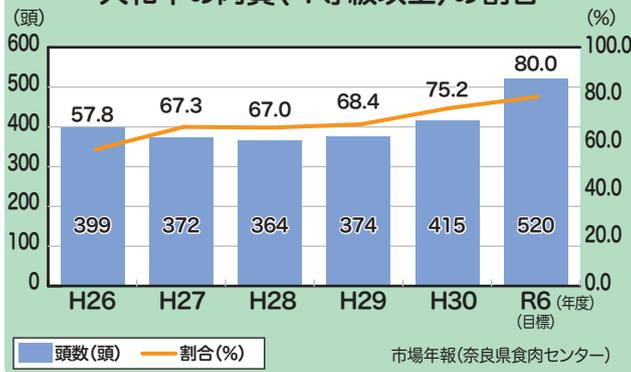
目指す姿

令和6年度までに大和牛の肉質(4等級以上)の割合を80%以上にします。

大和牛、ヤマトポーク、大和肉鶏等の大和畜産ブランドのブランド力の向上を進めてきたよ！「プレミアムセレクト大和牛」はその一つだよ。



大和牛の肉質(4等級以上)の割合



これからも、大和畜産ブランドを推進するため、意欲のある畜産農家を支援していきます。また、皆さんに安心!安全!な食肉を安定的に提供できるよう衛生管理の行き届いた食肉センターを運営していきます。



主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
奈良県プレミアムセレクト大和牛の安定生産の推進 [優良血統牛の導入支援]	優良血統牛の導入		大和牛の増頭
次世代大和肉鶏の生産体制の確立と流通の推進	次世代大和肉鶏の作出	生産段階へ移行	流通段階へ移行
食肉センターの施設管理、と畜業務等の運営やHACCP対応の整備に対する補助	HACCP対応整備		
	安全・安心な食肉を安定的に供給 (施設管理・と畜業務)		



(129) みつえ高原牧場の整備

これまで

- 開場以来、約1,500頭の優良和牛の素牛を生産し、畜産農家に供給してきました。
- 今後の畜産振興に活かしていくため、未利用地の活用方法の検討を進めています。
- 東部地域の活性化のため、御杖村と「まちづくりに関する包括協定」を結びました。

もっと良くするために

将来の畜産物の生産目標に基づき、みつえ高原牧場を活用した肉用牛、乳用牛の生産拠点整備と東部地域の振興に取り組めます。

目指す姿

令和4年度にみつえ高原牧場の整備工事に着手します。

都市近郊型の奈良県の畜産業は、新規の農場を整備して生産頭数を規模拡大して生産量を増やすことは難しいんだ。



みつえ高原牧場を有効活用して畜産農家を誘致することで、美味しい大和牛や新鮮な牛乳を増産することができます。



主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
みつえ高原牧場の有効活用	水源調査・用地測量		みつえ高原牧場の整備
みつえ高原牧場への農家の誘致	参入を希望する農家との協議		
畜産物の品質向上や増産	優良和牛の素牛(子牛)の農家への安定供給		



(130) 内水産業の振興

これまで

釣り対象魚の放流による河川漁業の振興、食用魚及び観賞魚の安定生産による養殖業の振興に取り組んできました。

- 河川漁業では、健全でよく釣れるアユの稚魚の放流及び天然アマゴの増殖等により遊漁者を増やす取組の実施
- 養殖業では、安全・安心なアマゴ等食用魚の生産及び消費拡大の取組の実施や金魚等の観賞魚について魚病対策等の安定生産技術の指導

もっと良くするために

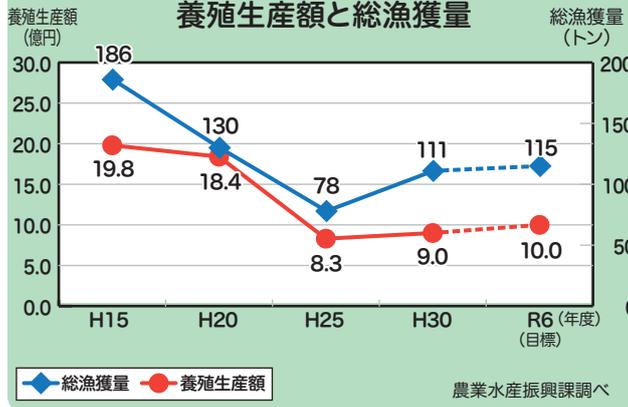
担い手の育成・確保による水産業の持続的な発展や新たな養殖業の展開に取り組めます。

- 養殖業の担い手を育成・確保するとともに意欲ある担い手の新たな挑戦を支援します。
- 地域の食や観光の資源であるアユやアマゴ等の釣りを楽しむ人の増加を図ります。

目指す姿

令和6年度までに金魚やアマゴ等の養殖生産額を10億円にします。
 令和6年度までにアユやアマゴ等の総漁獲量を115トンにします。

養殖生産額も総漁獲量も減少してきているんだね。どうすれば増えるんだろう。



養殖業の担い手を育成・確保することで養殖生産を増やすんです。より多くの人に釣りに来てもらうために、食や観光との連携を進めて釣りの魅力を発信するんです。



主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
養殖業の担い手育成	就業希望者と養殖業者とのマッチング、養殖業者への雇用者受入体制の充実		
観賞魚養殖の新たな挑戦への支援	観賞魚の高級品種に関する生産、PR、販路拡大及び輸出促進等への支援		
釣り人の誘客促進	釣り教室等釣りに親しむ取組の実施、釣り観光施設の連携の促進		



なら食と農の魅力創造国際大学校での実習風景



ブランド認証制度「奈良県プレミアムセレクト」の運用



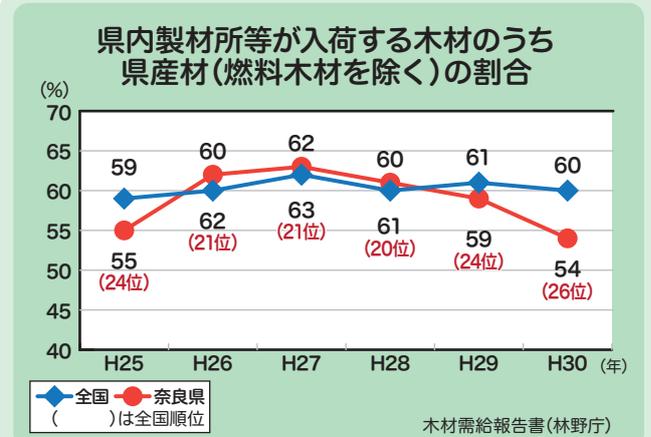
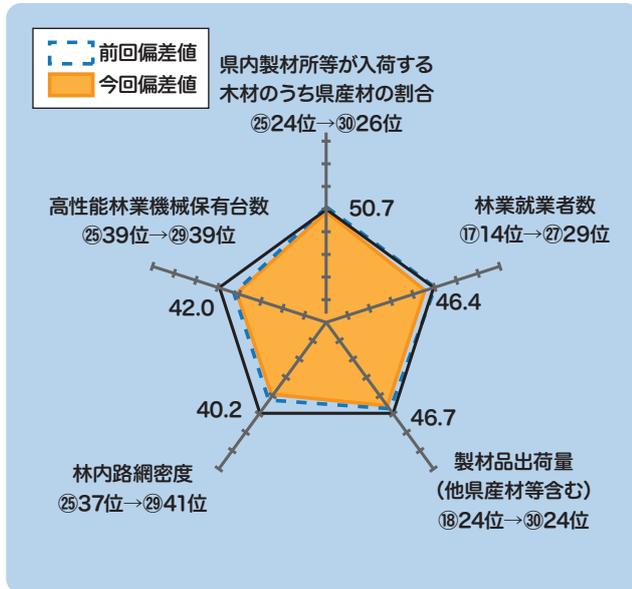
中央卸売市場の再整備イメージ

Ⅶ 豊かな「都」をつくる

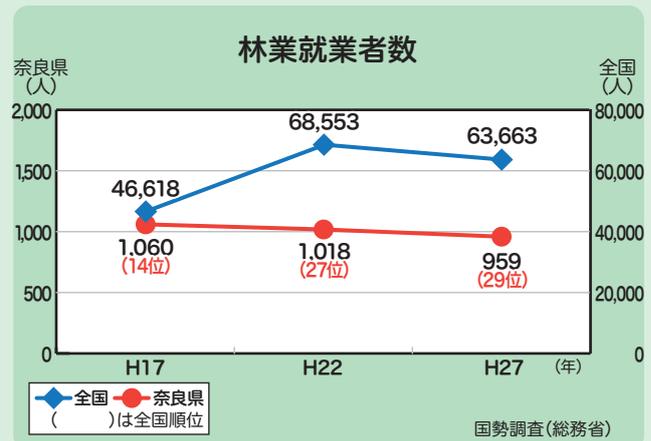
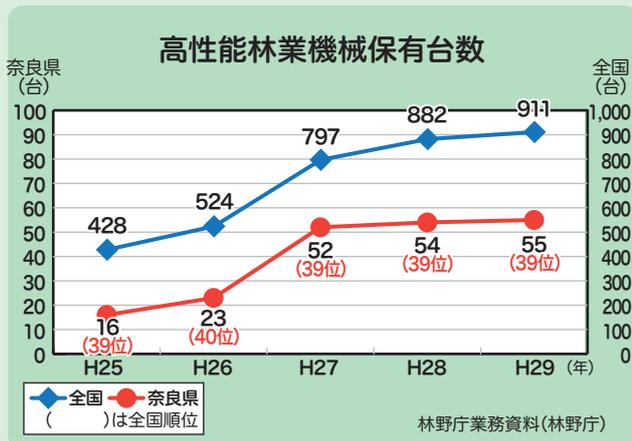
～県内の農・畜産・水産業・林業の振興、農村活性化、森林を護る施策を進める～



24. 森林環境管理・林業振興

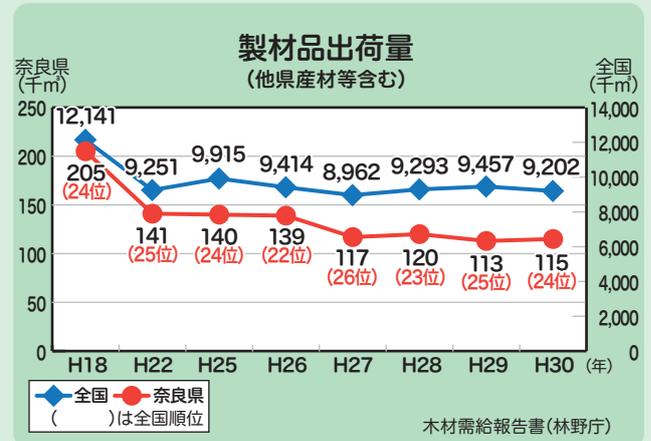
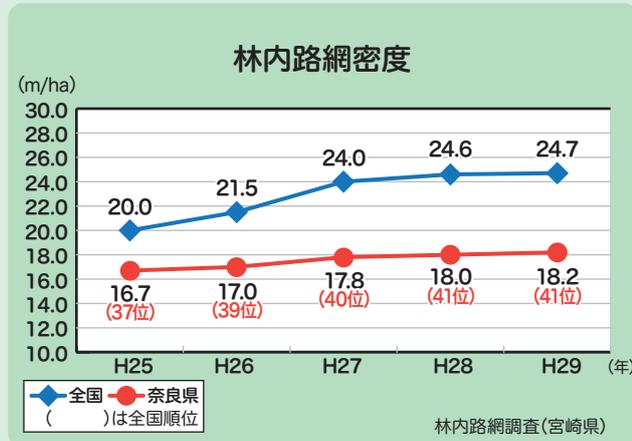


木材価格の低迷等により、県産材素材生産量が減少したため、県産材自給率は低下傾向にあります。



奈良県の高性能林業機械保有台数は、全国と比べて低位で推移していますが、徐々に増加傾向にあります。

林業就業者数は、奈良県では徐々に減少傾向にあります。



路網整備は着実に進んでいるものの、林内路網密度は全国と比べて低位にあり、差が徐々に拡大しています。

製材品出荷量(他県産材等含む)は、建築用材の出荷量の落ち込みにより、減少傾向にあります。



(131) 新たな森林環境管理制度の構築 (132) 森林防災体制の充実 (133) 奈良県フォレスター制度の確立、フォレスターアカデミーの設置

これまでは

- 県内の森林において、想定を上回る規模の山地災害が発生しており、災害を防ぐには、適切な森林管理・整備と、それを行う人材の確保が必要です。
- 県では、スイスの森林環境管理制度を参考に新たな森林環境管理制度の検討を重ねてきました。
スイスの森林を参考とした健康な森林の区分の設定



施業放置林の間伐後の状況(明日香村)



恒続林



適正人工林



天然林・自然林

もっと良くするために

- 森林の4機能である「森林資源生産・防災・生物多様性保全・レクリエーション」を一元的に管理し、防災機能を重視した「新たな森林環境管理制度」を導入するため、「奈良県森林環境の維持向上により森林と人との恒久的な共生を図る条例」を制定します。
- 制度を担う奈良県フォレスターと森林作業員を養成する奈良県フォレスターアカデミーを設置します。

目指す姿

令和6年度までに奈良県フォレスターアカデミー等で学んだ奈良県フォレスターを10名市町村に配置します。

4つの機能を高度に発揮させる森林づくりを進めるために、スイスを参考とした新たな森林環境管理制度を運用するんだ。



スイスで森林環境管理体制を学んだ人の数(累計)



制度の導入に必要な条例や人材の養成施設の設置が進められているんですよ。



主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
新たな森林環境管理制度の中核を担う人材の養成	奈良県フォレスターアカデミーの検討、設置、運営		
新たな森林区分の設置	恒続林、適正人工林、自然林への誘導に関する支援		
森林の整備・保全推進	施業放置林の整備(強度間伐、恒続林・自然林誘導)、新たな森林環境管理体制に基づく施策		



(134) 奈良の木ブランド戦略

これまでは

吉野材に代表される品質の優れた「奈良の木」のブランド力を活かし、販路開拓・利用拡大を推進してきました。

- 首都圏・海外への販路開拓
- 建築物への利用拡大
- 建築物以外への利用の推進
- 「奈良の木」の認知度向上

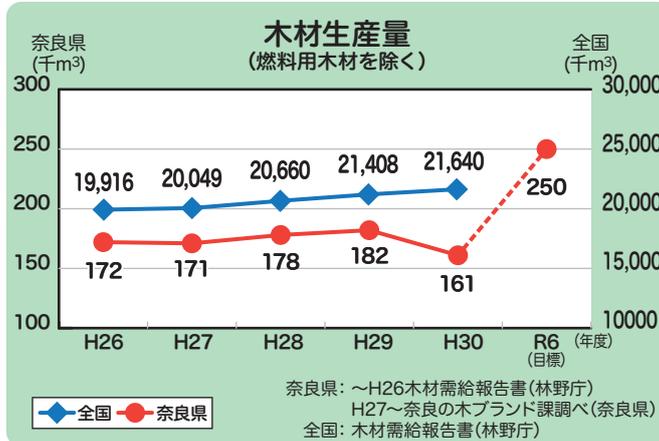
もっと良くするために

- 「奈良の木」のブランド力を広げ、販路拡大する取組を続けます。
- 川上・川中・川下の事業者連携により、マーケットインの考え方に基づく安定的・効率的で競争力を持つ供給・加工・流通体制(奈良の木サプライチェーン)を構築します。

目指す姿

令和6年度までに木材生産量を25万 m^3 にします。

奈良の木は強さと美しさを兼ね備えた、日本屈指の良質な木材として有名なんだ。



奈良の木をたくさん使ってもらうために首都圏や海外への販路拡大や公共建築物等への利用促進の取組を進めていきます。



主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
県内外の販路拡大	首都圏・海外等への販路拡大		
県産材の利用促進	公共建築物等や付加価値の高い木工品等への県産材の利用促進		
奈良の木の魅力の情報発信	県産材の利用促進に関する普及啓発・人材育成		
供給・加工・流通体制の構築	サプライチェーンの構築に向けた川上・川中・川下(注)の連携体制の検討		

(注)川上...素材生産業者、川中...供給・加工・流通業者、川下...建築設計者 等



(135) 奈良県産材の安定供給及び利用の促進

これまでは

A材、B材、C材全てを搬出し、多用途に供給利用する県産材の安定供給と利用の促進を目指して努力してきました。

もっと良くするために

奈良県県産材の安定供給及び利用の促進に関する条例を令和2年2月議会に提案します。

目指す姿

令和2年度に奈良県県産材の安定供給と利用促進プランを策定し、具体的な施策を推進します。

条例を踏まえた基本的な施策等

県産材を安定的に供給

- ・高性能林業機械の積極的な導入
- ・路網の計画的な整備
- ・森林施業の集約・合理化
- ・合意形成の仲介・計画提案の支援

県産材の利用を促進

- ・県産材認証制度の普及
- ・公共事業・公共建築物への利用促進
- ・国内外への販路の拡大
- ・木質バイオマス等その他の用途としての活用

人材の育成及び確保

- ・林業に係る高度な技術習得のための研修
- ・労働条件の向上促進
- ・県産材の利用促進を担う人材の育成

普及啓発

- ・木に親しみ、触れ合い、利用の意義を学ぶ機会の確保、情報発信

奈良には森林がたくさんあるけど、木を使うといいことがあるって本当なのかな？



木材は、人に心地よい感覚を与えたり、再生産ができて、人と環境にやさしい資源です。奈良の森林で育った木材を使うことが、奈良の森を守ることにつながるんです。



主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
条例を踏まえたアクションプランの策定	アクションプランの策定とその進捗管理		